

wamiles Charity concert 2023

Violin: 柏原大蔵 Piano: 有吉英奈 Cello: ナサニエル・ローゼン



ワミレス 東京チャリティーコンサート 2023



銀座 王子ホール

- JR
「有楽町駅」下車 銀座口から徒歩7分
- 地下鉄
「銀座駅」下車 A12出口から徒歩1分
「銀座一丁目駅」下車 8出口より徒歩5分
「東銀座駅」下車 A2出口から徒歩2分



〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目7番5号
王子ホールディングス本館 2F

2023年11月8日(水)
18:00開演(17:30開場予定)

TICKET ¥2,500

※小学校高学年よりご入場頂けます。
(チケットは一律 2,500 円頂戴致します。)
※収益金の一部をチャリティーとして
寄付させていただきます。

主催 / ワミレスコスメティックス(株)
協力 / (株)ウインズ
(株)プラザラポネ、(株)ワミレス

※お問い合わせ、チケットのお申し込みは
販売会社をお願いいたします。

PROFILE

Cello

Nathaniel
Rosen



ナサニエル・ローゼン

1948年カリフォルニア生まれ。1977年アメリカ、ヌーンバーグコンクール優勝を機に米国内デビュー。ピッツバーグ交響楽団の首席チェリストに就任。翌年、1978年第6回チャイコフスキー国際コンクールでアメリカ人初のチェロ部門第1位を受賞。以降世界的名手として広く知られるところとなる。ロサンゼルス交響楽団を始めとして、世界各地のオーケストラにソリストとして招かれる。ジョン・ウィリアムス指揮、ボストンポップスとのチャイコフスキー/ロココの主題による変奏曲共演も話題となった。過去における来日は、チャイコフスキーコンクール優勝後、東京、大阪でのリサイタル。1966年～1999年の笛吹国際音楽祭、2002年札幌、2004年清水勝雄メモリアルコンサートにて、皇后陛下のご来臨を賜る。インターロッケン夏期室内楽音楽例祭の芸術監督、アラスカ・シトカ夏期音楽祭の創始者の一人でもある。グラス市のサウスメソジスト大学、ニューハンプシャー州トーマス大学、マンハッタン音大にて教鞭をとる。2011年より日本に移住。現在、愛媛県在住、愛媛を中心に演奏活動や後進の育成にあたる。

ナサニエル・ローゼン公式サイト



Violin

Kashihara
Daizo



柏原 大蔵

1976年生まれ、愛媛県出身。99年愛媛大学卒業後、渡チェコ。プラハ・コンセルヴァトワール修了後、チェコフィルハーモニーオーケストラのフランティシェク・ハブリンに師事し、演奏活動も行う。5年間の留学生活でヨーロッパと日本のクラシック音楽の差を痛感し、クラシックを身近な音楽として日本で浸透させたい信念で、カルテットやアンサンブルを結成。帰国後、これまでに四国四県の学校や福祉施設、病院など100箇所以上を回り、草の根活動を行い多数のコンサートを開催する一方、日チェコ融合舞台「菊花の約」の作曲、現在FM愛媛でWeekend Classicのメインパーソナリティをつとめる。1785年製、ガリアーノを使用。

Piano

Ariyoshi
Ena



有吉 英奈

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。チェコ・プラハ音楽院へ留学。2004年パールフィー宮殿にてソリサイタルを開催。在学中にコンセルヴィヴァン第12回新人オーディションに合格、プライム・コンサートに出演する他、ヤングアーティストフェスティバルinプラハ、CZECH・LIBEREC音楽祭など、数々のコンサートに出演。帰国後はアンサンブルピアニスト、ピアノ講師として活動しながら内外のアーティストと共演、また国内各地にてチャリティーコンサートにも出演。2009年には鎌田實氏プロデュースCD「がんばらない」レーベルの『ふるさと』収録に参加。これまでにピアノを大越眞里子、ミハル・レゼック、室内楽をヴラダ・コチの各氏に師事。現在、昭和音楽大学及び同短期大学器楽伴奏非常勤講師、秋草学園短期大学ピアノ非常勤講師。

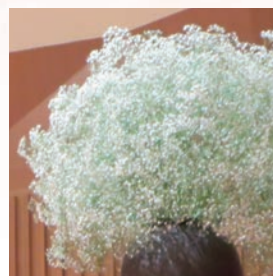
【今回の聴きどころ】

ヨハネス・ブラームス：チェロソナタの第二番

ドイツ音楽の三大B(バッハ、ベートーヴェン、ブラームス)の一人、ブラームスが作曲家としても成熟していた時期の作品です。

ガブリエル・フォーレ：チェロとピアノのための作品「エレジー」

フォーレはフランスの作曲家。「エレジー」は悲歌、哀歌という意味で、深い悲しみに満ち溢れた作品をローゼン氏はどのように演奏されるのでしょうか、どうぞお楽しみに。



wamiles

収益金の一部をチャリティーとして
寄付させていただきます。